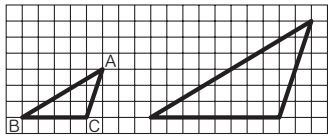
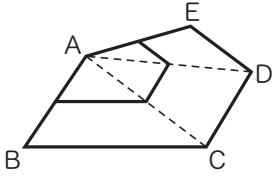


第6単元 拡大図と縮図(A)

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて	
①	15 (各5)	① 100° ② $\frac{1}{2}$ ③ 2.5cm	知技 拡大図・縮図の性質を理解している。	具体的な拡大図や縮図を示しながら、定義、性質について確認する。	
②	10		知技 方眼を用いて、拡大図をかくことができる。	頂点A、B、Cに対応する頂点の位置を方眼のます目を利用して決めるように指導する。	
③	20 (各10)	拡大図…㉔、㉕ 縮図…㉖、㉗ (いずれも順不同、完答)	知技 拡大図・縮図の弁別の仕方を理解している。	方眼を用いて、拡大図、縮図の定義、性質を確認する。	
④	5	(例) 正三角形、正方形、円、正多角形	知技 拡大図・縮図の関係にある図形を理解している。	辺の長さや角の大きさの性質を確認しながら考えさせる。	
⑤	10 (各5)	式 $8 \div \frac{1}{25000} = 200000$ ($8 \times 25000 = 200000$) 200000cm = 2 km 答 2 km	知技 縮尺を基に、地図上の長さから実際の長さを求めることができる。	縮尺の意味、表し方について、具体的事例を基に理解させる。単位換算の誤答も予想されるので、そのような児童には単位の大きさの関係を確かめさせる。	
⑥	10 (各5)	分数… $\frac{1}{50000}$ 比…1 : 50000	知技 地図上の長さから、縮尺の求め方、表し方を理解している。	縮尺を求めるときは、まず単位をそろえる。その際、小さい単位にそろえて計算するとよい。	
⑦	①	5	3 cm	知技 三角形の $\frac{1}{2}$ の縮図をかくことができる。	合同の学習を想起させて、三角形DEFについて、 $\frac{1}{2}$ の縮図のかき方を考えさせる。
	②	10 (各5)	角E…50°、角F…60°		
	③	15	(略)		

第6単元 拡大図と縮図(B)

問題番号	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 式 $5 \div \frac{1}{200} = 1000$ ($5 \times 200 = 1000$) 1000cm = 10m 答 10m	思判表 実際に測定が困難な場合の長さを、拡大図・縮図の考えを活用して求めている。	このような事例は机上でなく、実際の活動の中で理解を図りたい。校庭の木や校舎の高さなどを同様な方法で求めさせる。測定対象と測定地点の距離、縮図の縮尺など一定にせず、何通りかの場合で経験させるとよい。
	② (縮図の三角形の高さを4cmとして) 式 $4 \div \frac{1}{200} = 800$ ($4 \times 200 = 800$) 800cm = 8 m、 $8 + 1.2 = 9.2$ 答 9.2m		
②		思判表 1つの頂点からの対角線を用いた縮図のかき方をとらえ、多角形に活用している。	三角形ADEや四角形ABCDの $\frac{1}{2}$ の縮図を見せ、対応する辺の長さや角の大きさについて考えさせる。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	3問以上	2～1問	0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。